(水)日九十月九

級行所

の切

明確 第本 金倉 保証 対 物 末一 の

0 AA

市 田 和 明 明 仅 人 人 人

新京日日新聞社 新京日日新聞社 ・ 一 河 學・単

う、本年度は既に盗地も乏し く附屬地内は大した進展もあるまいと豫想されるがそれで を年内には少くも〇〇〇戸程 であらうといふのだ から、意楽界の活況は想像に

北洋防備用材

新京輸入組

工作を目的としたものである 五千本をカムテヤッカに職器 五千本をカムテヤッカに職器

やないんだから

此世のの

ながらともすれば忘れらながらともすれば忘れるエロテック映に安債なるエロテック映

てればいるんだよ、

はしないだら

れが、便は、いや

れま

カへ輸送 カムチャ

"

檻港の

彼女達川

0

£

一国るんです

すると相田

邀査の職が、

十八日より

九七

三番

二日間上映

附屬地の土建界も大活况

日十二月九

そこでまづ趣樂方面から眺めて見る、人口の過剰は忽ち住で見る、人口の過剰は忽ち住宅証となつた。 晋々は独外な宅証とになったのだが、さて人口の激増に比例して家屋の新道の激増に比例して家屋の新道といって、 右、各官廳あり、自社商店あ

八月分成績

新京職入社合入月分の樂績は一貫付百八件入萬一千七百二十二國、回收百七件入萬四千六百六十三國、任入九十三四十七百二十三國、任入九十三十七百二十二國(現地か 退、月末現在員百二十五名で 以、月末現在員百二十五名で 以、月末現在員四名加入、一名脱 は、三三四 は、月本の他五、三三四 は、日本の は、日

に資本

ないちゃあない

土地家屋

吉三

「うるさいな、

思いことさへし

男女員多数御一親大第 東二條通り橋南渡る左 東二條通り橋南渡る左

を間は一般興行 意編人のみに限ります 編人のみに限ります 御人のみに限ります

「だつで困る

叶全滿商議聯合會

十月六、七兩日新京で

新京でも提案事項研究中

度き要望の件

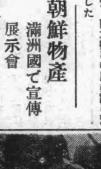
発口商議關甲子郎、坂井善則 所氏は豫て皆口製穀會社の設 立計事中の處此程十萬圓の株 式資本で之を設立することに 製穀會社設立 大きな仕事を、「一般のではずに、 一般してゐる。しかし、彼等には

り、個人住宅があるが、ことでは民間の分についてのみ配 市こととする、限られた面積 の耐騰地内である、限られた面積 たものでなければならぬはず たものでなければならぬはず たががれても事變後の發展られ たものでなければならぬはず たががあり、こ 全地は残らず一般に拂下げら ないってよ

開催される事となつたが各地

整することを要略に種談するの件 名の件 第七回日本商議定規總會提出 競案 市の問設と運賃の輕減に費 し以つて日稀通商貿易に賃 配せん事を要略に建策する の件

錦洲に移轉せ



本所参同各遺商品陳列所後接本所参同各遺商品陳列所後接体が空宣傳即賣會を開催する事となつたが、會場は率天公會堂、新京は太子堂の豫定となつてゐる。方法としては一般見本の陳列宣傳即賣、試食

大連の提案

はず協會側が委託行ふ事とな 一様で、本格の質、みり 一様で、本格の質、みり では統制上個々の架者之を行 では、本格の質、みり では、本格の質、みり では、本格の質、みり 米、林檎、栗、松の實、みりとなつてゐるが、即寶品中白

電にして約四倍半、金額にして 質に二十倍强といふ凄まじい 電差だ、翌昭和八年度も同様 で二百四十八件(敷地二三〇 九〇四平方米、穂坪七七、二 二二平方米)概算四百一萬六 手五百八十四圓、本年度の数

施に開國とも積極的に乗り出すことになるが、取敢えず懸 案となつてゐる鐵、小麥其他 をとなってゐる鐵、小麥其他 が、取敢えず懸

第一案 日本
第一案 日本
第一案 日本
第一案 日本
第二案
第二案
第二案
第二案
清神國政府に懇談所及
第三案
開東州内立。
第一案
第一章
第

書があることを知つてゐる。 この報告書は事變の後六ヶ月 をの六週間を満洲に滞在して 満州観、彼はそれを近の有名なリットン 期の限に映じた近き將來の で表現してゐるか、報告書部 に表現してゐるか、報告書部 に表現してゐるか、報告書部 で表現してゐるか、報告書部 で表現してゐるか、報告書部 現在まで補洲國政府がその 政策を動行するため費した る時日の短がき事を充分的 を動ほこの政府がその の政策を動行し得 おへることすら忘れてずつてる れて、なくなつてるる。彼等はれて、なくなつてるる。彼等は た。彼等の暗論「本家」 肥粋配 の弱か、彼等自身の負ふべき不 の機能だったの機能でのかった 交配の遡査が 「あの女は、

である。 を苦しく、空は眼むりであるた。 を苦しく眩世を投げ出ってるた。 どこか強くでした。 どこか強くでは、 一般のでは、 一般のでは、 できるないが、 できないが、 できないがいが、 できないがい できないがいがい できないがい できないがいがい できないがいがい できないがい できないがい できないがい できないがい できないがい できないがい できない できない できない できない できない できない できない こともない こともののはない ことものののはない ことものののはない ことものののはない ことものののはない ことものののはない ことものののはない ことものののはない ことものののできない こともののできない こともののできない こともののできない こともののできない こともののできない こともののできない できない ことものののできない できない こともののできない こともののできない こともののできない できない こともののできない こともののできない こともののできない ことものい てるた。総苦しく抜き、 「うるせえな 寄生」 で、工職に織しかけた。 で工職技、塗鬼だぜ、きつと概 は自くもねえ、それとも影響か 「ねむれた こえて来る。 りと際反りを打つ

いいやんなちま

もう二時



らる。一晩いくら



新京で一番大きくて

安くて美味しい

西料理

理さ



電話賣買金融電話用達部電話用達部 中書 唯一 管沼タイプライター設質元 笹屋商會支店 一大九 官刑タイプライター





新京キネマ 新撰組悲歌 根州東一郎監督作品 常 章 三 章 第 章 三 月宮乙女 水林香本 夏三人三光

飛行界にあた人は先つ事川を見入がま 東京市 日本祭 東京市日本祭 奇座

東京和加州 百般的中の指導 一角音音般解决 第定科普通三面 特別五圓 毎日午前入時より午後入時 場所告野町北瀬旅館へ

竹 年 内内 唄映書の 0 主演 娘

の名を記する骨相見の類に批上有り觸れたる高島姓を大地眼の名天下に定評あり大地眼の名天下に定評あり大地眼の名天下に定評あり

熊本縣人に告ぐ

(縣下中學校長歡迎會の件)

新京大周路四九

募集一名。

高者履歷書持多本 斷然 それ 新京 て……親切叮嚀 圓 宿

大きなが、東京 吉野町五丁目十

多少に不拘御用命顧上候▲ **瓦日本型製造販賣**

困るんです。ど 戦がった たのであらう んでもないんだ」

(-)

としてアメリカ首脳部の更法を轉期 だら變刺したか、時偶々アメ ズヴェルト大統領フーヴァ氏に代つて就 經濟會顕豫備會商の成果はス大統領フーヴァ氏に代つて賦 に出って行はれた世界 アメリカ首脳部の更法を轉期 相とハル関務長官の間に交換 としてアメリカの日本に對す されたメッセーデは事變以来 そる態度は大なる緩和を見た、ステムソン時代の標に満洲事 民的感情を一掃するに成功した。ステムソン時代の標に満洲事 民的感情を一掃するに成功した。ステムソン時代の標に満洲事 民的感情を一掃するに成功した。

日満兩國の步調

報告書空文化さる

をものではなし、そればかり 対域をなすなどは實際上出来 お前をなすなどは實際上出来 を外交行消曲が奏せられてる な外交行消曲が奏せられてる は対し極層 が、しかく日本に對し極層 がある。 ではなし、そればかり

新る関際情勢の下に本年一月 開する愛明を設するや、モー 開する愛明を設するや、モー 開する愛明を設するや、モー 一 ニング、ボストの如き英國の 所機連す」と論ずるに至り消 別の承認に先立ち早くも崩壊 一 本は今日最も興味深く感どられたか、それを逃べる前に吾 れたか、それを逃べる前に吾 れたか、それを逃べる前に吾 れたか、それを逃べる前に吾 にも準断した、而もその雷時 にも準断した、而もその雷時 にも準断した。而もその雷時

つた女の壁だ、と思った。

かけた。実験

においては依然日支粉学諮詢 委員會に於て滿洲國不承認 告書が採掘され、聯盟事務 がら該不承認に関する固章が から該不承認に関する固章が

がなった、釈迦に動

博多屋

東山勉强 流質品安賣 祝町学自中四 =

(=)

投資の合理化を期 1中 と共に會員通署になる関東長 に至つた 機関の形式で辭表を作成する 漸く宜大化すべく面観される かない 人機の形式で辭表を確棄し、改 用も与現職に止るを得ず 並に警務局内もとれに 他 大人間 かて各自一身上の都合により 兩局にも遊及するときは事態 性 大人間 かて各自一身上の都合により 兩局にも遊及するときは事態 性 と共に會員通署になる関東長 に至つた

滿洲電氣合同會祉近く設立 ■ を一國籍の普通質社をして經 國政府の監督下に全滅に亘り ・ 一大連より北は満蘇國境に至 ある、日浦兩國政府に於ては ・ 業であるが日浦兩國の特殊事 氣事栗に闘する法規を制定し ・ 業であるが日浦兩國の特殊事 氣事栗に闘する法規を制定し ・ 業であるが日浦兩國の特殊事 氣事栗に闘する法規を制定し ・ 大連より北は満蘇國境に至 ある、日浦兩國政府に於ては ・ 大連とり北は満蘇國境に至 ある、日浦兩國政府に於ては ・ 大連とり北は満蘇國境に至 ある、日浦兩國政府に於ては ・ 大連とりまする電 株式公募は行はず

他により國家的統制方針を体 いら質質上特殊の資社たる特

廉總務廳長秘書官關口保氏 | メキシコ人と協力、

1

處長に榮轉 興安總署總務

本滿洲國政府代表財政部理財 一本演員 一一本演員 一一本演員 一一本演員 一一本演員 一一本演員 一一本。 一一、 一一本。 一一本。

十一キロを七十五時間の繼續 | つた由である

落をみたので九月の俸給から は全部本排ひによつて支給さ

の地位

も獲得

敗正給與是正案

やつど目鼻

満洲國政府の俸給今月から

になる

警口縣下では散日前より小妻 栗、稗等の刈入れにかょり二 十日頃よりは、高梁、大豆の 刈入に着手する事となつたが 縣下の收穫は大作に於て七分 作で最も不良なのは第三區で これは過害のため五割減收の 模様である

 回り及り
 三十九ヶ國
 東・横
 理事國の地位を承認する理事
 に附した結果薬権十票以外
 に附した結果薬権十票以外
 に対した結果薬権十票以外 を假拂の形式によつて支拂ひ 新給與令の是正もこの程一段部の高官を除く外は全部俸給 拂ひとなつてゐたがいよいよに手間どつた關係で七月は一 拂ひをなし委任官の大部分假滿洲國では改正給與令の是正 人月は鷹任官以上に對して本

設置氣運漸く動く

均衡上貴族院から選任か

目下候補者物色中

非常任理事國の

電によれば、ソ聯陸軍飛行家 成功 職飛行家成功

見た

まく聞たまく

以下も 張軍政部大臣

人事往來

東四人の機性

▲上海倫敦向 東值 「志思广次分」 東值 「志思广次分」 東值 「志思广次分」 東值 「志思广次分」 東値 「志思广次分」 東値 「志思广次分」 東値 「志思广次分」 東値 「志思广次分」 東値 「本思广次分」 東値 「本思广次分」 東値 「本思广次分」 東値 「本思广次分」 東値 「本思广次分」

持ちの働きも無観 と関民の後援が興 と関民の後援が興

響島用機能甲板にて艦隊乗租 常令官及び廉森前駐瀬蘇軍部 でで及び廉森前駐瀬蘇軍部

満洲國の情勢講演

心配無用だ、磯軍政部大臣と信は持つてゐる、國民は此點

建艦競争をせずこも

國防は大安定

満洲問題の解决は比率廢棄

正式 15円 円 元 15円 円 元 15 円 元 15

本海軍は建設サルよらなくははあった。この拘束が既存係約の我にでもやり様はない、決裂を目むをして来るので、質の東神がなけ、は決して心配する事を考へるので、質の東神がなけった。この拘束が既存係約できればどんなにでもやり様はない、大裂を目むをした。この拘束が既存係約できればどんなにでもやり様はない、大裂を目むをした。この拘束が既存係約できればどんなにでもやり様はない。

卒直に傳へる

來朝せる米記者團代表語る あるが

でない臨聯盟的であるでない臨聯盟的である 落、今更聯盟を怨む支那では 非ず騒きになひくなり

やつと正式支給が出来る、是

始めました!! 豚饅

負にの名物桃太郎食堂の豚饅頭を始めましたからどうぞ御贔暑い間は一時休ませて頂いて居ましたが本日からお待衆

太 郞

三七八 0

富士町二丁目新京ホテル隣

湖平均では平年(六千二百萬 湯方面は水嵜の影響基大で全 湯方面は水嵜の影響基大で全 建務成長白海暗澄氏は興安健 をの如く公表された

八農民が 與安總署總務處長 與安總署總務處長 與安總署總務處長 任與安總署参與官

市電爭議解決後

★ 青木電臣氏(嗣東應書務課 本 青木電臣氏(嗣東應書務課 本 西井大佐(支那駐屯軍会謀 を 長)十八日午後七時三十分 を を を を で 大連から

辭任か 藤沼總監

各地市場

一、開講科目 ・ 出願日時 ・ 出願日時

集

保

のに大した (人) (本)

州知事の誠意全く認め難く 学 人園は、ロスアンゼルス駐割 ・ 議意に信頼出来ぬので在留邦 ・ 従来の事情に微し最早知事の ・ 従来の事情に微し最早知事の ・ 従来の事情に微し最早知事の ・ で と で で と で で と で と で で と で と で で と で と で で と で で と で で と で で と で で と で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と で で と 【東京陝通】最近內務省との 折合に關して東角の噂があつ た縣沼響襲墜監は東京市電争 段を異にし一層その進退を注 見を異にし一層その進退を注

邦人の播種を妨害

自分の進退に就いては充分 客賦中であつて市電争観が 解決されゝば進退を決する 考へだ

市電野護解決移辭任の意あ

大阪三品

中不敢取以紙上御禮申上候の規理を開始の場所とのの場所という。本学のでは、日本

新京永樂町一八三 新京八島通六九

謝

火御

見舞

刈入を始めた

營口縣下農作

落選い

電があったが期待の大きかって支那落選の報は十七日夜郭泰祺公使より簡単なる報告人

ただけに部内の きく、今更の ある、外交部で 如く聯盟呪咀の

支那今更乍ら聯盟を呪咀 **術** 出産い道ちにその旨轉電した は壁山潜在中の外交部長汪精

頭

遠近共出前迅速

吉野 町 丁 目

談下さいませ、 一本まで朗らかな麗人を求むへ人御來年齢二十才より三十才まで朗らかな麗人を求むへ人御來お 座敷 女中さん 五名 募集連日満員大多忙に つき 急

四ス EO

1十八日日補兩國海の力場が 脚舎艦駅 の響れらわる の響れらわる の響れらわる

つたから参聴者は留置された各々變更、午後三時からとなる講演會は種々の都合により

三時から

山海關胡蘆島、錦縣廻遊計畫

奉天で團体を募集

廿三、

四兩日

の 医験を見事すること」なった を関すること」なった。 を関すること」なった。 を関するではこれを を対域に全満から選出した各分 といるではこれを の、二十四日新京彦、入港中 中央事務局の小川増雄氏が引 中央事務局の小川増雄氏が引

營口號叉匪襲

縣參事官等四人慘殺

土匪百骸名も之に加はり掠奪折柄何處からともなく集つた

職客七八名を除くほ

祈柄何處からともなく集つた 教到し目ぼしき物品を掠奪中 を手にした的四十名の匪賊が

通化縣

威嚇射撃に遭ひ、途に船長が

出たので関係各

死体は河中に投ず

新京放送局の催し

天津勝芳間

定期船を匪襲

【吉林園通】昨年春以来京園 として荒れ狂つてゐた順首青 山好(本名陳修凋)は今年五 山好(本名陳修凋)は今年五 川以東今寶出しの明亮距園に 観張りを荒され、鳴を靜めて

乘客五十二名を拉致

本官所持の顕常三萬国並に阿 はこれた、尚この他鮮満人にも はこれた、尚この他鮮満人にも はいりであるが はいりでものが はいりでものが

は本年廿五才、原籍福岡縣大年中田市湊町で家族は目下峯天に在り、島日人官吏は本年廿六才、鹿児縣出身で他の二名は全然判断しない

前非を悟り

トラック等十

類に向ふ途中

歸順申入れ

といふので王家の門前は見物人の山 をなしてゐるといふので王家の門前は見物人の山 をなしてゐるとれた赤ん坊が何と女ばかりの四兒であり 母乳不生れた赤ん坊が何と女ばかりの四兒であり 母乳不生れた赤ん坊が何と女ばかりの四兒であり 母乳不生れた赤ん坊が何と女ばかりの四兒であり 母乳不生れた赤ん坊が何と女ばかりの四兒であり 母乳不生れた (吉林園通)當地東陽東大灘街門牌一〇三號居住といふので王家の門前は見物人の山 をなしてゐるといふので王家の門前は見物人の山 をなしてゐるといる。

船內河 杭運局 所屬 河運 號は 勝芳(白河支流)閩定期連絡

報(駐補海軍部構内より中二時迄海軍機飛來狀況の連二時迄海軍機飛來狀況の連

次司

歡迎の諸準備成る

飛行機も豫定通り

場から酸火したが急報に接し 新京消防腺並に満洲國消防腺 計に至らず同一時鎮火した、 事に至らず同一時鎮火した、 場に至らず同一時鎮火した、

國防献

金熱の冷めかけたけ

日満聯合で ペスト防疫會議

首都警察廳、市公署、滿鐵、 新京署では十九日午後一時から首都警察廳でベスト防疫會 職を開き出席者から今日まで の防疫科長から同一方の實情を 職取し今後の防疫方法につい で種々協議した 京れられぬ満洲事變勃酸して 早三周年、當時盛んであつた 園防献金、軍職顧問などは恰 が 事に薄らいだ感がある今日、 時恰も事煙勃酸配念日にあた 時恰も事煙勃酸配念日にあた か る十八日午後六時ごろ黒サー かの館標にハンチングをかぶ つた一見どこかの商店員風の 日うつり月變り國民の一日も

を 告げず逃げるやうにして出ていつた、不審に 思つて憲兵は が「木山豐と申します」とだけいつて表つた本人の住所に つき本社員が市内大小商店に 間ひ合せて 漸く木山君が赤木 洋行の店員であることが 判明

のを作つてそののを作つてそのにしてゐるのです。 こ年で中止する。 してあり、五緒で中止する。

銭入れる人も

面白い

源の

廿日午後來着

地上勤務員は先着

何に驚いたか狂ひ出した白馬 兒童を傷り

をで献金といふ程でもありませんが、あの金はちようと昨年九月二十四日の晩二十一名の店員とはかつてラーナー名の店員とはかつてラーカンのではない。

行時に際しこれが防止に刑事新京署司法係では拳銃強盗債

休の大活動で

で十九日司令長官末次大將一行を迎へる事になった新京では、各機關を擧げて歓迎準備を急いであるが、新京中央放

寒(西公園陸上競技場より)同五時迄海軍々樂隊の演り同五時迄海軍々樂隊の演

(三)廿日午後三時より同四 時迄講演「時局と海軍」聯 合艦隊司令長官未次大將(新京高女講堂より中繼) (四)廿一日午後六時卅分よ り七時迄講演「本洲に於る 高女講堂より中樹) のテイ、マルザリヤ(新京 のテイ、マルザリヤ(新京 教王代理司長顧問田口芳 東(車体番號1-0062) 東(車体番號1-0062) が平安町から中央通りを抜け 室町小學校前を狂奔して來た かかり道の新京公學校見室一 名を下敷にして電柱と室町小 學校の塀の間にはさまつて術 く喰い止めた、敷かれた見窟 は幸ひに頭部にかすり傷の程 は本ひに頭部にかすり傷の程 をとり出して「これをお願ひ紙を添へ金三十圓入つたものを訪れ懐中から青色封筒に手

けふ参拜者

賑はふ兩戰蹟

中 市内見學、同日午後五時四十 内地人宅 奉天衛縣散の豫定となっ 専門の賊 (二九)は内 は 五分奉天衛縣散の豫定となっ 専門の賊 (二九)は内 けるを新京署井上刑事が探知し 下 るを新京署井上刑事が探知し 下 なを新京署井上刑事が探知し 下

主催の下に當日午前十時から一般間三周年に相當するので地下の英豐を慰め、また謝恩ので地方を表するため在京南韓部隊

記念祭も執行さ

ら 所長、岩阪在郷軍へ分會副長 げたが、こゝでは 際 荒木地方事務所長、神崎同副 市民に代つて同様 地 碑東側で盛大な能念祭を執行 参拝し花環を捧げ 地 碑東側で盛大な能念祭を執行 参拝し花環を捧げ

日前小合竃から潜入し市内でCIMOの三名で一味は二十

機闘でその處 全死者 全死者

務局員以下七 同プユリシシュ 同プユリシシュ 巡長、楢崎勇雄、露人モー 管務局長志村以

者十四名

【譬ロ関通】去る十三日清津 丸(五七七六トン)には、譬 口向枕木二十萬順の積荷をも つてゐるが、そのうち五萬八 時四十五分着列車で着岸の筈 **尚局員の屍体は十七日午後四** 天山丸救助不能

御幸の一洗倉肚より直 配入園産は日本毛織、伊丹 ・ 和来は英国一洗倉肚より直 学の一流會社

モオ

七五

合理的に裁縫された勝又の

卒業生賣店 包包

伊太利晉樂家 女で演奏

外務所省の斡旋に亘つて日孫軍に亘つて日孫軍に亘つて日孫軍人の歌手作曲等人の歌手作曲等 わかもと姉妹店

天鉄編を以て左常 ある新京ダイヤ街 ある新京ダイヤ街 ある新京ダイヤ街 魚茶屋開店 東京式お座敷が店として「わか情料亭「わか

國際 動學對金票 對金票 國際 對金票 國際

けふの銀相場 11)巨田〇個

ベレッター放 として短られ として知られ

暗神官によつてとり行はれた 観祭は十九日午前十時から山 で 寬城子慰靈祭時間後

一般多拜者などで終日帳つたとも各學校生徒その條各側体

預吉郎氏を始め、寛城子、新列席者は時局後援會代表小澤 あり盛會楓に十時三十分終了京兩國防婦人會々員五十餘名 約三時間

D

洋服

調製和

€

皮服毒

雅

城內大停電

近く噺やく點燈された、右はらい疑惧の念を與へ午後十時 分頃突如城内方面は一特に停十六日の日曜日午後七時四十 電して暗黒の街と化し而かも

目T二(街々1夕)町楽永京新 一番四四五二話電一

線が突如断線した鳥めである パ、ママ排撃の

前の高脈

美談

亦木洋行店員一

錢會の企て

一人で二口でも 莊厳に營まれ、常日は兩職蹟 八することや相 會並に満洲山護國寺の禮拜堂 中銭づゝ必らず の下に、元大同學院前で供養 が入することや相 會並に満洲山護國寺の禮拜堂 は、一銭づゝ必らず の下に、元大同學院前で供養 が入することや相 自並に満洲山護國寺の禮拜堂 は、一銭で」を持ち、一人の日から各店 国日満殉死者英重供養會主催 に関粹教育振興に努めてゐる はれる麻中小學校を親祭レバ はれる麻中小學校を親祭レバ 【東京

出州國安東縣立為道三丁目

的 店 要 販

新京署が强盗逮捕 卵取調べ中である 附屬地荒し 新京署で逮捕

表代の酒清

番五七〇三話章 店

ング拳銃二挺、モーゼル拳銃 午前七時まで三所に張込み賊 挺、實頭百二酸を押收し取 の一味を檢擧し更に共犯搜 住所不定伊貴祥(二八)、 小量に潜入してゐるを探知 匪賊三名が鐵道北草場相苦 岳巡捕長の一殿は日本 大る六日午前六時ごろ春日町 六丁目永順公並に十日午前七 時五十分日本橋通七十一番地 志遠達の隣家を襲ひ現金二千 三百余員を騒盗逃走した犯人 に就き新京署司法保では倉田 同法主任を初め河本警部補以 は 成 関 に 逃に 前 記 の 犯 行 を 自 した 一 味 は 前 記 刷 家 を 襲 ひ 一 旦 新 安 堡 に 浅 走 し 李 の 隠 れ 家 で 張 夢 金 の 山 別 し 四名 で 大 級 捜 信 三 重 風 を 返 奥 し て め た も の で ある 。 な ほ 共 犯 一 名 も 長 通 路 暑 に 逮 捕 さ れ た が 名 も 長 通 路 暑 に 逮 捕 さ れ た が 名 も 長 通 路 暑 に 逮 捕 さ れ た が 西巡捕長が探知し十八日午前 一時ごろ犯人の立廻り先であ る説町平康里大戦樓に張込中 紀人は何喰はぬ風で悠々登樓 したところを逮捕し取調べた ところロを緘してゐたが峻烈 な取調に遂に前配の犯行を自 白した一味は前配開家を襲ひ 一旦新安堡に逃走し李の陸れ 家で張奪金の山別し四名で大 に關係してゐるを成怒刑事、 儀居住李德勝(二八)が一味

醉いせよ

德島縣· 八總會開催

・ 日時 來九月廿三日午前十一時 ・ 場所 西公園海軍記念碑附近 ・ 場所 西公園海軍記念碑附近 ・ 場所 西公園海軍記念碑附近 申込場所 野原電話二〇七五、安坂電話三八四八大四電話二〇七五、安坂電話三八四八

キチンさ 0 隙 \$ な 多の洋

分 それは『正確な探す 綿密な栽断これを

那灰

相談に應じます

ニングバ廣 十五圓…百 圓圓圓

切符發賣所

都

隨 入 意 院

新京永樂町三丁目 新京永樂町三丁目

即

の御用は

突然の情の脚

(四.

配通しでしたかられ、わたし でせる。けんは朝ツから てしまふと、引かへして観分の観

相違ねえ」 男がやねえ

は削ってるせるかそれほどでもあ

し眠くなつて来た

いや、他もいつになく野つた

●六白の人 萬全の策を立て ・日と辛と癸が吉 も外事は注意せざれば失敗 高まり地位向上する大吉日

●八白の人 辛苦なり義理人情を欠か

『手前今の間に何處かへ躍しや

包 大阪商船出帜

れから年時ばかりたつてっ九

「一先づ職べかけりやならねえ

★印度 為 奇雅 X中二三等船客設備船 門司、神戸、大阪行) 新 京 東

御

唸を生じて大評判 ●鰻かば焼ト丼 食道樂 青葉 三笠町二丁目

電話二九四二番

元氣益々加はる有望の日

ム日婚的金談起業皆吉の人 意外の幸運に惠

は效あるの光

味覺で立つ

用 達

洋品雑貨

電話ニルニ五・二九六七新京老松町二丁目天野商店内

新京出張所新設

日本橋通り二五

電話三八三四番へ

B

本 樹

通七四

平

をわられてみた。そして差でるた からいつて九八を引立てた。
配つけた。小平は見事に耐から離 ――』

小平の年間が乾見に引渡された。

米宮に入つ

の腕をとつたの

氏十郎は部下の報告を録さして

でない、恐らくガギりとは別のない。これが使いいない、恐らくガギりとは別のないでは、

商用

いていふことが、一つの大きな相

临鲜口

満洲女

しかし、金を得つたことよ、青

すべての遭りなが万収りの犯人

木)

加藤洋 市場

電話二〇1

取扱懇切の保険は信用厚く 御申込は 命

太 作 條 涵 田 商店

診療

科目

花柳病科、

肛門病科

是非御用命を…… 秋着尺新荷差 ふさん……わた類は **有荷**

洋流行 二二番 街ヤイタ京新 一町枝ヶ梅 9_BT







目種

稽古所

川砂販賣

多少二不拘御用命被

下度候

申込所 x 長



國產品! 鵜殿 兄 弟 商 會 *花吳座



知 識 眼 科 院

主任教師 竹會 身館

二各ュー ダ ロ正午より午後五時半まで▲
オーステップ(一九三四年度
が、ンス ・後五時半まで▲

教

祝町三丁目 和公司 話五六三





に人員整理が行はれるであれ、改組に依つて頻東龍の標

大連各署員

續々解表を提出

上南署にても一身上の都合に、大小勝子、水・一十時辭表を認め度石署長の手

の決心と固き握手とを必要と することは疑を容れざる所で あります、給この機會におき 関の興騰發展と密接なる關係 を有し現在將來に亘り日滿團 を有し現在將來に亘り日滿團

比划

(B

勝合艦職司令長官 来 大

關東廳員の危惧は

る使命を果すに遺憾なき確

盛大なる歡迎宴に

主客歡を盡す

一行を迎へて | 各理事、森口、丸山雨軍政部職会 | 大田、本 テ ル の 鄭 總 理 招 安 大田、共和・テ | 祭職長、張多觀府職長以下各 | 第職長、張多觀府職長以下各 | 第職長、張多觀府職長以下各 | 大田、ナ 和 ホ テ ル の 鄭 總 理 招 安 總 長

頁八共刊夕紙本 日 日 日

き川高

** 手板

日:二月九年九和照

元年の危機を双肩に擔ふ 海國日本の將星堂々1 驛頭を埋めるドヨメキ、 萬歲、手、 旗 急調子歡迎狂躁曲

園き握手こそ日滿雨園民が今日で待望の日であつた。一行は貴賓室で小憩の後郷前廣格に並んだ小園民が赤誠こめて艦縁列車」は滑り込んだ。ドッと撃る獣。のごよめき日満兩國の僣き契りを獺栗に結ぶ劇的シーンは展開された、提分軍業除の奏する『軍艦マーチ』の晋も躍るフォームに未太長官一行三十八名並に大連まで出迎へた張軍政部大臣、 軍艦マーチ』の晋も躍るフォームに末次長官一行三十八名並に大連まで出迎へた張軍政部大臣、遠藤總務應長を棄せた部大臣、石丸侍征武官、各学議ら日補顯官が被々と到來して、プオームは空前の歌迎陣が張られた。特つ間もなく定刻まる頃殲國務總理を始め、西尾拳謀長、閩村副長、小林駐鴻海軍部司令官、大鳥拳謀長、岩佐憲兵隊司令官以下海陸南國防婦人會、新京結人團体聯盟各婦人會々員は校族、羅族を先頭に押し立てゝ長官一行の到着を待つ、やがて定刻もせ 市民の感謝はいかばかりであらう、寄贈迫るフォームに東郷』末次大將一行は全滿三千四百萬民衆の絶大の信頼海國日本の誇り『われらがアーマダ』は全滿を揺がせて、 は七時早くもぎつしりと各學校生徒、新京海友會、在郷軍人、と感激の裡に晴れの都入りをした、力騒き長官一行を迎へた全

く群集の間を終つて驛前に出れば、驛前廣場には三千の小學生が手に「日の丸」を振りかざして萬才 の名人 等日滿官民きつしりと埋むるブラットフォームに入京第一步を印し 際司令官、清水機闘大佐並に在郷軍人、各學校生徒、國防婦人會員 際司令官、清水機闘大佐並に在郷軍人、各學校生徒、國防婦人會員 大島駐鞴海軍部縁謀長、岩佐憲兵 た。主賓側は大体四百名ぐら かであるから約一千名の多数

道識叢叢の歌呼に迎へられ海軍部差廻しの自動車で直に大和ホテルにおける郷穗種の招宴に向つた

打ち振る歓迎提灯の

波 日

共に大和ホテルにおける鄭國務總理の招宴に臨んだで駐講衛軍部において志摩領軍、原田陸軍両大佐のは ◆◆を歓呼する、感激と與奮の隘の中を各艦長は海軍部差廻しの自動車に分薬海軍部 原日陸軍両大佐の滿洲事績に闘する講話があつて 行は同七時半末次司令長官と 時没收せらる」事あるべして機械並ひにフイルム等一 、同二時半から四時半ま丸」を振りかざして萬才

他に於て地上に曹陸せる場一、寒天、薪京、ハルピン其一、寒天、薪京、ハルピン其 當局の撮影 の申込み者は約六百名に達し二十日午後四時から開かれる

訪滿大飛行に

満洲國からの見學團

取締方針

一千名を突破

軍樂隊の演奏會

前に會場につめかけ

もしれる単になつて居る、當 日の宮内府では馬場に日浦兩 関旗を布き、此處に投下され た通信筒を侍從武官より終呈 するものである、尚上空に於

約六百名 めに開かれる

は 「順東艦職員の 全然ないから職員の不安は全 改組案の郵旨を徹底せしむる。 中の大場関東 つて増員される結果とならう 場警務局長の責任を促し職員 中の大場関東 つて増員される結果とならう 場警務局長の責任を促し職員

全く取越苦勞

翰長、大場局長に傳達を依賴

抗議な

で根本的に無視し した遺口

物質にふるまひたる領土 ||侵害||部北瀬特派員施 **重抗議をなしその猛省を促す**

くいと

(議會は解散なし) 非常時豫算成立で 政友會内部に自重論起る

| 11-17-1 | 政友會の態度如 | 努めて忌避の方針である | 17-17-1 | 政友會の態度如 | 努めて忌避の方針である | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-17-1 | 17-1

数友會も表面温硬だが政府に 観測されてゐる

非常任理事國落選に

正著等機能達に感じ 開発 所外交部は十八日 天の如 原明智を養破した 國民政府聲明 民政 2 の戦迎前に延

能够整理要求

地方部商工課金

源田 二四三大佐 赤城飛行綠 岡山齊少 森田 千里 少佐

安東地方事務所動影係長を会

う、今回り

目の大谷改

により

西公園上空でも高等飛行 観覧が好都合である、尚この 観覧者は西公園に参集しての り上昇反轉、積轉地上揚射 旋四、巴宙返り編録。宙返 急上昇、無條下、編録、垂直 アラスカの

んど全滅

れられる日が到来して

搭乘准士官以上

四十四名

皇帝に謁見

新京勞工、勞農 書的百萬弗以上の見込みで大火の爆殆んど全滅した。 ム十七日就随通」アラ

放送不能の

皇帝に敬意な

質表を投

天覧に供る

9る海軍獨特の

壯烈な高等飛行展開

一部幹部の私的策動に依り新京勢工、勢農兩協會は近 兩協會設立 小認可か 軋 來 十八日事更記念日

してラウドスピーカーの前に こととなつて居たが、この記 会補並に日本内地へ放送する 他同时

新京放送局の失態は各方面か

目下之が準備中である

京は全市その光榮と ら海の勇士達を迎へる

軍事的施設



安

入學は今!君はま 後に悔いる

は君の

果して経済の好き入學者! 中學校卒業の實力! これがなければこれからの時代の波を乗切ることが出來ないのは諸君もよく知つてゐよう。そして早稲田の中學講義は左大改善を施し、內容は易しく面白く大改善を施し、內容は易しく面白く大改善を施し、內容は易しく面白く大改善を施し、內容は易しく面白く 八大附録を添へて諸君を待つてゐる 懸つて諸君の決断にある!のである。この機會を摑む 想むか否かは

五年程度 各一

再び早稲田中學

憲兵と偽り

遊興、窃盗を働く

麦職人中川盛太郎 (三三) は老松町三丁目二 岡村賞氏方理

励を償む考 | 超特急用客車は木月二十五日る、官吏で | 工場に於て製作を急いでゐた

翼軍の奮戰効なく

肺合単優勝す

*雖全新京庭球リーグ戦終る

球リー

乾森加高折古矢 谷藤橋目山住 四三四

一二 〇 四 二 中城 經古本小黑中野井井屋長林田東谷

電蹟マラソン

新京高等女學校

廿三日秋

京義編阿縣大牟田市本町六丁小大、鹿兒島市搬道學校出身・ルピン大同館の江頭稔氏は

季運動會

目明治三十二年生れ、東京日

新京選手出發

近~完成 世七日大連、秦 天間正式試運轉 天間正式試運轉

好季節である、二十四日が彼 小春日和がつとく管で運動の 小春日和がつとく管で運動の 小春日和がつとく管で運動の の か大復さへすればまだ當分は は か

朝鮮人二名、滿人女一名、聯
の外囲彈の爲即死せるものは
の外囲彈の爲即死せるものは
の外囲彈の爲即死せるものは

れば汽船警口號を

州電氣支店

超特急客車

優勝旗授與式

野村体聯幹事から加藤明

百

高砂新京県長は事務打合せの 九日午後二時歸京し左の如く 語つた

は組合加盟店に對し

新京神社多詣後附

官を官邸に訪問し感いて皇帝陛下に奔謁

の被害

届けるや

両店はまだ提出してゐないの方を通知してゐたが約半数の

前中までに是非

來る二十一日から

彼岸にユ

へる

この は同地の日本憲兵隊の頂調べ を受けてゐるが、遺離日本人 を受けてゐるが、 をした をした

營口號襲擊匪

山中へ逃亡す

到着そのまる室町小學校を長

たがこの程出来

皇帝に献上の

この際慎しむ

大連署と同一歩調はとらぬ

歸京した高山署長談

奥行五間半

何め

近くハルビンから露人來京 い發會試合

態よ目出度く設立すること 機吉川氏の斡旋と本社後援 機吉川氏の斡旋と本社後援 | 一般の 一般の 一般の 三氏である に設置し近く華々しく道場を日本標通新京百 十六日城内憲兵隊員に逮捕さ め前後敷別に豆

中學校長團

拳銃を突付け脅迫金銭の猟師憲兵司令部司法係單憲兵

たところ賊と衝突したが 一馬路警察官分駐所に乗じる 脅迫金銭の强要 術工作の為近日中京岡線第五 直通運轉をなすべく計畫、理 直通運轉をなすべく計畫、理

入れ組合加入七千五百余戸東縣内住民の保健衛生に力

イヤ改正で

直通運轉

電野工事落成したのでその被 電野 本来る二十二日午後零時 中から日満各界の代表を招宴 する

小學校、

官邸落成披露

あり先頃地に縣公署智局の奇貨とし一部に策励する者 菱刈司令官

部に赤十字関際會職

將校渡日

吉興上將以下

落

開業いたしました

優雅な座敷……

落ついた御氣分

代表派遣

推鵬方を命じた。小

に立つ初等、中等學校教員の 人材を養成するため文教部教 負講習所では來る十月六日よ り十二月迄第七回教員講習會 を新京城内吉林省立第二師範 學校内で開催する事となり各 省各特別市に對し夫々教員の 満州國第二國民養成の第一線

人居留民會

それに連れ朝鮮人居留民會は一新京に於る朝鮮人の人口も日 事務所設立

はされる日満法曹協會第一夫 大會に満洲國各省より代表者 派遣方の要請あつたので新京

民、周萬蘂の三氏を代表候補が先穀暫定的に張惠鳳、李覺 を挟えてゐる折とて

レ、三銭及六銭切手 陪觀の爲

次大會に

第七回教員講習

日本に珍らしい 一丈五尺

農民は鎌を振つて遂に大蛇を (館山颐通) 千葉縣安房郡 飛ひかゝり 節剛州分に 亘草刈中大蛇を 説見大蛇は

対射した 大東公司の阿片二千四百閥と 新楽聯合局公金二萬八千頃、

、名負傷者多數

明前

▲中村慶治氏(3部町一丁日生 生生 生生 ・大野千代治氏(3部町一丁日生

日本人被害者

利民號討伐隊追擊中 一年生れ、原籍鹿見島縣 柴石・田城に惨殺された徳河縣公 しく江防艦職利民討伐職は目掠奪し山中に逃走したものら 【ハルビン園通】 銃線管口號 ▲入江寅雄氏(梅ヶ枝町一 日十四番地ノニ)男英俊 日十四番地ノニ)男英俊 八番地)男元彦さん八日間部正雄氏(永樂町一丁 居住消息

> 秋 是非御來駕 日時 加 至自 お 九月二十日 待申

最も理想的 牧場 設備を誇る 最新 令こ宅牧場 新京飛行場南 電乙口八八番 均質牛乳 脱脂乳 ワリーム 場主三电預益 歌響鈴木芳吉 乳 柳柳峰長春

必ず 御滿足 和 得 3 してゐます 6 0 3

優良洋難貨服 ▼國都の美観を飾る流行品▲ 大賣出

新 京 百 貨 店 洋央 货服

.

記念切手發行 際名談に

する事務の處理は困難となっ たので、今国事務所新築の計 を関で其の基金素質其他に 七日普通學校に於て委員會を 七日普通學校に於て委員會を が個も斃死機酸の傾向あり 及ひ倒木溝一帶にかけ八月 に四人死亡、尙數人队 用より鮮農飼養の牛馬に始 炭疽病發生

新

愈々

開業

築

皆様御聲援を得て漸く

待合「桐

憲協同防疫中である 大川周明氏

に對する控訴公判は十九日間側の從犯大川周明以下三 【東京國通】五、一五事件民 左の如く論告求刑があつ 懲役十五年 る控訴公判は

本間意一郎 馬田 郎

襲撃を受く ス又も紅匪の

是非御立寄りの程を!

新京梅ケ技町一丁目

将乗)が通化縣城手前過道河 山城鎖を出發した鐵路總局ベ ス六臺(路響三十八名乗)及 ス六臺(路響三十八名乗)及 子附近に於てまたも紅題約百 れ、交戦二時間に









電話四七九〇番

0

既報、減蝦では十八日午前十 時半から大連協和會中庭で殉 京における社員は、鐵道事務 京における社員は、鐵道事務 新十時三十分を期して三十秒 流ける先輩、同僚の冥福を斬

書の精粹映

先に申込受附期日を九月二十 ので目下生徒募集中であるが ので目下生徒募集中であるが

募生締切日

女體解剖映畵 女性の優内組織を解剖し精密の動性の人場を繋じられてあるといふので富局から 男性の入場を繋じられてある

迫る日満美術展

一當局 世中であるが美術使節として 関部子 傾は 中日 朝北時新京に 頸番の 雅定である、 偽正本直 意氏は 中三日朝七時來京北浦大介氏は 中四日小室學雲、荒木十畝綱氏外三日朝大時來京北浦大介氏は 中四日

(二) 极鳥

滿鐵殉職者

安 い 食 堂

能身、國文、等術、自然、日本教科書は初級小學校教科書は初級小學校教科書の印刷國定教科書は初級小學校教科書の印刷國定教科書は初級小學校教科書の印刷國定教科書は初級小學校教科書の印刷の文教部に於て意々同部編纂の文教部に於て意々同部編纂の文教部に於て意々同部編纂の文教科書は初級小學校教科書は初級小學校教科書の記述を

市内永樂町の日建宗日本山妙市内永樂町の日建宗日本山妙時から皇慶祭大法要式ならひに信徒先祖郷恩施餓鬼供養をに信徒先祖郷恩施餓鬼供養を

試驗大成功 長距離無線電話

彼岸會法要

舞臺に出演する事になった

日本東方繪書協會と

食長岡部子網は準備打合せの食長岡部子網は準備打合せの

百名以上は收容出來以ことに 百名以上は收容出來以ことに

新興キネマ入り

日より十月二日まで第一會場 (商業學校講堂)及ひ第二會 場(城内泰談合)に於て二百 本十點を展覧し一般の鑑賞に 供することゝなつた、倚ほ副

淵聯合美術展

から

五日から十月五日迄となつて 九日迄としたさらである、開 期に八百名もの受講申込みが、 期に八百名もの受講申込みが、 知に八百名もの受講申込みが、 のるが今期は種々の都合で四

田雅二、月宮乙女主演「新撰園館がある、添へものに佐久園館がある、添へものに佐久田砂子等の「港そだち」海江

粗悲歌」等がある

D

顧

(中)

河

那人一萬の生命財産を確保するため、政然和つた長谷部旅の海令、大島聯議長は先郎が第一に領事館ならひに開展がある、他方南嶺攻撃を命ぎられた黒石少佐は敵にさとられ口やる部下を率ひて南に迫うのに非常な辛苦を書

は正門を開けて三四十名の將 の好機、続日を揃へて一齊射 長が馬を曳て出て來る、天佑 の好機、続日を揃へて一齊射 位の先に軍刀をひらめかして から先の戦闘を詳述したら新 の発機を埋めても却々述べつ の発しても知々述べつ

れ た大島聯隊長自ら馬をするめれ た大島聯隊長自ら馬をするめれ た大島聯隊長自ら馬をするめ いに大島聯隊長自ら馬をするめ いい いい 大 ・ 我 々 新聞 通信陽 係済は 旅園司令部に集り最初の旅園 にっきり判つて來る。南横へ下来る情報で時局の推移は にっきり判つて來る。南横へ下来る。 これより かい マイの後に各方面から集 でて来る情報で時局の推移は できり判って來る。 南横の できり判って來る。 南横の できり 対して来る。 一方ま

条解に船い がて寛城子方面に豆を煎るよ のは在郷軍人が召集されて勇 をしく集つて來る姿だつたや

のでは無かつた、頑強に抵抗する敵兵、選には砲を用ひてする敵兵、選には砲を用ひて攻め落した程だつた。夜があけてからも市民は日支開戦と同いても半信半疑、和泉町附近の補鐵祉宅あたりでは女子供が、今日の演習はいつもよ

てったの

ですますが、ない出しては眺め、 15

一、 一等 四八三圓二〇銭 一等 四八三圓二〇銭 一等 四八三圓二〇銭 一等 四八三圓二〇銭 一等 一三八圓二〇銭 一等 一三八圓二〇銭 一等 一三八圓二〇銭 一二分五九秒 一次五0〇〇米

(二) 北總 配當(復) (二) (單) (單) (單) (單) (單)

船滿食堂

れる皆様の食堂

四洋料理の極致を満喫さ

婦人こお子様の食堂本格

理想的モダン大衆食堂御

近

H

開

店

二十日(木曜)新京放送番組一一一十日(木曜)新京放送番組一一一中間の部

店主は調理界のチャムピ

新京ダイヤ老松町十三

オン!

植彩票一等 一五三圓二〇銭 二等 四三圓七〇銭 三等 二一圓八〇銭 等外 七圓八〇銭 等外 七圓八〇銭 「一)青鳳(騎手城内) 「一)近江(三)矢鳳

食慾の秋恍惚たる味覺の

陶醉境!

オ、舌端に躍るその快味

(東京観邏)さきに日活を退 就十七日新興キネマに正式入 然十七日新興キネマに正式入

本語の五科十二册、高級小學 校教科書經學、國文、準雅、自然、日 を身、經學、國文、地理、 三科四册、初級中學校教科書 修身、經學、國文、地理、 生 修身、經學、國文、地理、生

新京支部例會

千軒瀬を越へた長距離関際無 標電話の試験は十八日大阪通 標電話の試験は十八日大阪通 のコンデイションがよくなか つたに拘らず通話は至極明瞭 で連絡は美事大成功を敷め、 で連絡は美事大成功を敷め、

室

勇士の墓を葬ふ

第二日成績第二日成績(二)北州(騎手落合)(二)北州(騎手落合)二分○米

第二次秋競馬

三三、

(二) 五國六〇錢 (單) 五國六〇錢 (單) 五國六〇錢 (單) 五國六〇錢 (單) 五國八〇錢 (單) 五國八〇錢 (單) 五國八〇錢 (十頭)一六〇〇米 (二) 稻穗(三) 高維 (二) 稻穗(三) 高維

H 務用品 房 誌

に運を讀る卷平難將見市本書 去と覆破も末易解來上場を 多典なお稍株にのの!を を のにての々式解理動イン は厚づそで設論する

日をり相場を語ることを得るとして初めて株式

四六版二百五十頁

御報次第無料送呈

◆三井火災。■四年電五六六九

は乗るべきもの機は瞬間で乗るべきもの機は瞬間であると質に達し巻での関系を関まれてする。

和事文月

新京吉町銀座街

ワ書店

111111

井朝松久中吉新 下比岡芳野屋屋 郁金三享洋旅雄 也造男介行館雄 郁金二 就也造男 是第三二二〇春 方 二六〇七番 1110大香 四大二八番 五九三〇番 三五七九番 三七八六番 IIIIIIO番 二九四七番

日出町三 五馬路 錦町三 即町三 日本橋通 三笠町一 飾町四

株界出陣の必須參考書

店

党話 五四七二番地大油市 愛宕町二番地

電話二三四九番

本年ノ總會以來會員各位ノ努力ニ依ツテの会に、一至リマシタノデ此機會ニ於テ至急名薄ノ完備ヲ期シ度イト存ジマテ至急名薄ノ完備ヲ期シ度イト存ジマスカラ左記ニ依リ精大入會ノ海中込ヲニ依ツをは、大会の大会のでは、 ノ契領ハ事務所へ御陶合セノコメテ御申迄ノコト

株は射越屋 質株本位 新京說町四丁目一三 清株 算式

迅速叮嚀 新 鵜殿新十郎

表替裏替 疊 京疊店 東一條通濟防嚴機

御鐵建

獎局局

事務所

社 新京祝町三丁目一七番地

石

山 永吉縣第三區大震子

電話二〇吐三番 所 が業町ノニル

食 御用命は是非弊店に!! 辨品 なら 所 3

開

配品價

物格

御用命用は

店

鍋料理 10円 一家族的に御利用の程を…… おちついた御座敷! 閣靜で… 徳じます!! 一人様以上の間宴會 小鉢物色4 電話二七 イマトホテル 英 リカーノ十四

の冬

台物 **多服のお仕度は** 仕度は 入荷

碎栗粗 高級金庫 石石石 **E** 製家具

權太商

害自動車保

アデノイド扁桃腺疾患、蓄膿症、應需特ニ難聴耳鳴症(耳硬化)慢性中耳炎 血液檢查、血壓檢查、靜脈注射、 鍋 人院隨時 谷耳

ミ良優 取採石ゲカ

滿洲花崗石材合資會司

目科業營 ●石山埋蔵量六三〇〇萬才● 川土粗花 崗石 材採堀及 砂地石

版 開碎 石 石 五 版 賣 五 石 版 賣

超スピードー富 新京ダイヤ梅(太陽ホテル前) 電話五八六九番 ヒ屋商店

廣

食洋洋 何料煙 處品草酒 商品は全部直輸入致し居り 専門の店 開店致ました **帯へ行った吉長側の眼についた。**

たべもぐり込み、他へられないや 下で、もぐり込み、他へられないや

多着く先は尾花ケ黴のお脊線や変

だらうから、その間に前の小屋

疲れないワ、

いくら勉强して

その子がを使って皆氏的は義国。仕方があるまい。お聞は其間あな

歌るおいら一郎へ

つと明で眠によりはしたが致命間。

で女が聞にるちや鬼角に気が引って女が聞にるちゃ鬼角に気が引っており

家庭にはか

ないワネ

アースタムは

上院によりはしたが致命局

よく瀬と

材機があなさるかくれがだる

するの

がスーご

つければ頭 コレをコ・に

う。音笑明は背後にある手分に

けて呼尼吸ひになる。おい等のこ

手に眼脚まれたって、大火夫一方

おいいと言いいはなから

見て

湿1 元大

行外代理店

北黄

此行

木)

けると青兵館が潜し隠した。 つて了つた。

ってゐるのを見た吉兵都は、

「お定い間下ではふせぎかつき

お定が自分のそばに引添って立

治りますからネ

サアー

モー泣かなく

九月二十六日 花家屯附屬地一國大市云家屯附屬地一國

いたま

電話五

7

とかいるよ

毒山に

毒、

「親介、奴等複殺にしてやりま 当兵衛が、短続のほを実方へ同っかり個脚を購へてるた。 その上二階では子の憲がわめまなっかり個脚を購へてるた。 その上二階では子の憲がわめまなっかり個脚を購へてるた。 おりの とのよったが、その代りに又歌声をこはそのようにでは子の憲がわめまない。 おり と 一 がら 勝手へ向ってかはらを判断で

何にを塗って

わる

での子分は削ふはち低に、 尻か

つかり御師を調へてゐた。

それを開墾するには、二階の調から最後へ出て、総総を向けると、二階の概予数を売々しい足と、一階の概予数を売々しい足ど

の物音が古英順の耳に確へられた

一日にはのぞき穴がない。

をか其臨へかけつけた時には、

酸馬口の捕物の

1110

日:

本" 0 聖, 田 龍 平

畫葵

アースタム

忘れる

h 0

公必示

か急に設として、二階に厳込んで、 一路に設として、二階に厳込んで、 のた子分が観き出て、何かと支援 とし出した様々しい物音が認かれ 権れが織じられた。 一一統元、宋の間の背後の様をこ 音兵衛はうなづいて、其方へ間 な定がかけて来て注題した。 はムタスーア人一の庭家

部に動く構手の姿が、影響のやら 窓てみてて、小類竹を逃して、外 にたと思ったにからはらず、吉泉 味の間の背後の壁を今こはし出 火 つけたの、四 傷 10 スタムを を スタムつけたから治つたのした けれご でネ



恢復するサ、 は スツカリ ば スツカリ

積資立本 金金

アースタムは 化粧下に使る お前が何日本

神經痛に わたしの

よく効くよ

東京、丸之内、名古屋、大阪、神戸、門司、長東京、丸之内、名古屋、大阪、神戸、門司、長東京、丸之内、名古屋、大阪、神戸、門司、長東京、丸之内、名古屋、大阪、神戸、門司、長東、司舎、では、りオデジャネイロ、シドニー、アレル、布哇、りオデジャネイロ、シドニー、アレル、布哇、りオデジャネイロ、シドニー、アレル、布哇、りオデジャネイロ、シドニー、アレル、市時、リヤ、五がヤ、バタビヤ、五貫、カルカツタ、間貫、新高、カルカツタ、同島、漢口、天津、北平、營口、大連、原衛資 横濱

億 宣金額拂込濟 正金 京 文 號 店 行

取引先信用調查 经濟事情內報 經濟事情內報 經濟事情內報 經濟事情內報

各木西種材四

Ш

局

製材

部

電話ニーニの夢

工場大經路二九四行自動車部

四.

馬路

電話三四 =

自慢の手打うどん 村

品

前迅速

つぶり

3

ch

き井

大和通二

番

为 A M T A M T A 行為 東東 日為 日為 開業 指 別 東 所 除 加 大 日

文相同

き皆様の御引立を願つ 欧米流行モダンツ インコート

新荷着 高整色 オリエント 販賣部

附屬品全部取揃へて居ります **位話二一五六春** 行

> H 話問七二三三三三

水ペン美術看板

溪湖石炭 滿鐵指定販賣

- CANONO CA

醸 节 整 按 整 进 营 进 带

品

